

公益社団法人 茨城県作業療法士会  
平成 30 年度 第 3 回常任理事会 議事録

日時：平成 30 年 11 月 20 日（火） 19：30～21：45  
場所：茨城県作業療法士会事務所（水戸市緑町 3-5-35 茨城県保健衛生会館内）  
出席：（理事）大場、寺門、小森、大内、笥、荒井、宇都木、武士、渡辺、磯  
欠席：角田  
書記：開江（総務副部長）

【 I 審議事項】

1. 平成 31 年度予算案・事業計画の確認 →承認 (武士財務部長)
  - ・各部署の予算案について資料提示の上、報告がなされ内容について審議された。
  - ・県士会管理費として、9,650,000 の収入、6,931,877 の支出を見込んでいる。  
収入の大半は会費収入。平成 30 年 11 月時点での会員数は 1025 名（内 5 名休会者）。新人の会員数は 80 名で計上。95%（989 人）の会費納入を見込んでいる。  
前年度比として、収入+670,000、支出+248,162 を見込んでいる。
  - ・広報局より、346,030 の支出を見込んでいる。  
認知症サポーター養成講座の費用を削除。  
進路指導者会議の講師謝金、交通費を新規で計上。  
支出としては昨年度より-2000 となっている。
  - ・教育学術局より、2,190,000 の収入、2,432,166 の支出を見込んでいる。
  - ・地域貢献局より、792,000 の支出を見込んでいる。
  - ・医療圏より、1,239,176 の支出を見込んでいる。
  - ・地域貢献局、医療圏については前年度の支出額と同額で算出している
  - ・認知症推進委員会は 15 万円で計上。
  - ・まとめとして、収入は約 80 万円増加する見込み、支出としては 3 万円程増加の見込み。遊休財産は約 70 万円増加することが予想される。公益目的事業における支出額増を検討していく必要がある。  
黒木 OTR の叙勲受賞に伴い、寄付金費用(30 万円)も計上しておく。  
臨床実習指導者研修の絡みもあるため予備費として 20 万円を計上。
  - ・今後の予定としては、12 月に修正案を会計社へ一度提出。修正内容提示していただき各部署で修正をかける。1 月の第 4 回常任理事会までに予算案の修正を完了し、常任理事会で審議。承認後会計社へ提出。3 月までに予算書の作成を会計社へ依頼。第 2 回理事会にて承認を受ける。
2. 茨城ロボッツとのコラボレーション企画について →承認 (渡辺 OT フェスタ運営部長)
  - ・プロバケットボールリーグ（B リーグ）茨城ロボッツと当士会のコラボレーション企画について資料提示の上、提案がなされ、内容について審議された。
  - ・茨城ロボッツは、今年の「水戸まちなかフェスタ」が台風の影響で中止となり、活動アピールの場をなくしていた団体へ声かけを行っている。当士会へも市役所を通して依頼が来た。
  - ・ロボッツ側から医療福祉とのつながりを持ちたいとの要望もあった。今後の展開としては精神疾患患者の雇用の場となることも考えている。
  - ・2019 年 1 月 5 日 18 時、1 月 6 日 14 時に水戸市青柳体育館にてホームゲームが行われる予定であり、その際にロビーで OT フェスタを開催することが提案された。時間の関係もあり日中開催の 1 月 6 日で参加することとする。
  - ・内容としては、非利き手でのロボッツロゴの塗り絵（塗り絵の裏面には、ロボッツを観戦することで得られる効果を掲載する）、ドリブルをしながらの計算、輪投げなど。  
OT の啓蒙活動も実施することが可能。自助具にロボッツのロゴや OT のロゴを入れて配布（ファイルやボールペン等）することも検討している。
  - ・無料招待者として扱うために 30 名以上の参加者を募りたい。無料招待者は OT だけではなく、その家族や職場の利用者、友人等も可。

- ・参加者としては、純粋な観客としての参加者側と OT フェスタの運営側とで分けて考えていく必要がある。ユーザー支援との絡みもあるため OT フェスタのチーム編成を行い、各医療圏への協力依頼もしていく必要がある。ロボットのホームゲームは茨城県内で水戸、日立、つくばで開催される。
- ・試合時間としては2時間程。試合前にロビーでブースを設けて、試合中にはブースは畳んでしまう。会場のバリアフリー化に関しては特に問題ない。
- ・来年度のつながりとして、定期的な OT フェスタの開催を行えるように各医療圏との協力、予算取りを行っていく。

## 【Ⅱ 報告・連絡事項】

### 1. 第11回茨城県作業療学会進捗状況について (宇都木学会部長)

- ・第11回茨城県作業療学会の進捗状況について資料提示の上報告がなされた。
- ・演題発表は、一般登録数合計81演題(口述29演題、ポスター52演題)。演題の査読は終了しており、機関紙への入れ込み作業中となっている。
- ・機関紙の掲載は9割方終了しており、11月22日の最終確認後に印刷業者へ発注する予定となっている。印刷業者としては hachioji 印刷会社と牛久印刷で見積もりを依頼している。年内に会員の手元に届くようにしていく。
- ・広告申請施設は県士会員所属の施設8施設。企業6施設(シーティング工房、ロングライフ、TBファクトリー、茨城トヨペット、幸和義肢研究所、クリニック)。当日の出展も幸和義肢研究所、茨城トヨペット、クリニックの3業者に内諾を頂いている。幸和義肢研究所、クリニックには講演の合間で当日プレゼンを実施していただく予定。
- ・作業所の参加については、滑川作業所にランチョンセミナー時の配布用にパンを依頼。医療大学内での営利活動は禁止となっているため、学会にて買い取りし参加者へ配布の予定。
- ・学会日よりについてはツイッターにて報告済み。
- ・後援についても6市町村、8団体に承諾を頂き済み。
- ・学会日よりはNo3までHP掲載済み。SNS(ツイッター)報告も随時配信中。
- ・一般演題の座長については、17名に内諾を頂いている。今後依頼分を郵送の予定。
- ・いきいき茨城ゆめ大会のコンディショニングルーム案内についても実施する。案内方法としては、当日放送、ビラ配り、ブース設置、ツイッター利用を実施していく。
- ・今後のスケジュールとしては、11月中旬に機関紙入稿。12月中旬に機関紙発行時期。11月定期発送にて会員用チラシを発送。12月中に他団体用のポスターチラシを郵送予定。  
また、12月中に座長、保育士を確定。講師の宿泊・交通手段を手配する予定。  
1月中にA0ポスター、横断幕、懸垂幕の印刷依頼を行う。A0ポスターや横断幕、懸垂幕についてはネット印刷も含めて検討する。
- ・学会当日のスケジュールは、前日午後から前日準備を実施。当日は7時集合。受付開始8時30分～(受付時間1時間)学会終了後17時終了。終了後に懇親会を開催予定。

### 2. 学会担当医療圏輪番の検討について (宇都木学会部長)

- ・今後の学会担当医療圏について提案がなされ、内容について検討された。
- ・古河・坂東/筑西・下妻を分けて開催していく案で理事会へ挙げ審議していく。
- ・リハケア学会の同時開催時には開催医療圏の人数を考慮して輪番を調整していく。

### 3. いきいき茨城ゆめ大会進捗状況について (荒井総務部長)

- ・いきいき茨城ゆめ大会における、資格審査についての進捗状況、コンディショニングルームの進捗状況について資料提示の上報告がなされた。
- ・資格審査について、平成30年12月16日(日)に茨城県水戸生涯学習センターにて第19回全国障害者スポーツ大会「いきいき茨城ゆめ大会」資格審査に係る研修会が開催予定。
- ・平成31年2月9日(土)[10日(日)予備日]にリハーサル大会の資格審査を実施予定。
- ・コンディショニングルーム運営準備について、平成30年10月13日、14日に柘植理事が福井大会の視察を実施。県障害者スポーツ大会局へ視察報告書を提出。10月27日の県作業療法士連盟研修会にて活動状況報告を実施。

- ・コンディショニンググループ従事希望者の応募状況としては、第1回：5名（のべ10名）、第2回：8名（のべ18名）、合計：13名（のべ28/55名）の申し込みとなっている。継続して募集していく。
- ・今後の予定としては平成30年12月11日に第2回コンディショニンググループ運営検討会議が開催予定であり、荒井理事柘植理事が出席の予定。また、他団体へ視察報告も予定している。
- ・平成31年1月以降に従事予定者を対象とした研修会を複数回開催。5月にプレ大会を開催。8月に実施体制を決定し、必要書類を郵送。（プログラム、マニュアル、ID等）9月（9/28~10/8）に茨城国体開催。10月（10/12~14）に全スポ茨城コンディショニンググループの設置・運営の予定となっている。
- ・コンディショニンググループの会場運営について、PT士会とOT士会とで各専門性を生かしながら合同で会場の運営を行なっても良いのではないかと意見も聞かれており、今後検討していく。

4. 変更届けの進捗状況について （荒井総務部長）

- ・平成29年度の事業報告にて、認知力アッププログラム教材モデル事業について、変更届が必要との指摘があり変更届の作成を実施していたが、新たに県より認知症支援推進委員会の事業内容について指摘があった。
- ・新たに指摘を受けた点としては「認知症サポーター養成活動への支援の促進」についてであり、県担当者とは密に連絡を取りながら修正をかけている。
- ・県士会として、サポーター養成講座を実施しているわけではなく、行政が行っているサポーター養成講座に講師を派遣している形となっており行政の活動への協力・支援を行っている。県の担当者に説明し、指摘に沿って事業計画の文言を変更していく。

5. 後納郵便の運賃の変更について （磯庶務部長）

- ・後納郵便の値上げに伴う変更点について、平成30年度と平成31年度の比較資料の提示があり報告がなされた。
- ・何巻の差し出し個数が多い場合は、大きな増加はない印象。

6. 会員証デザインについて （磯庶務部長）

- ・来年度から会員証を1年使用にして行くにあたり、資料提示の上、会員証のデザインについて報告がなされた。
- ・会員証表面には年度記載をしていく。
- ・裏面に再発行時に手数料がかかることを明記しておく。
- ・Email、URLを見やすく変更。県士会 hp リンクできる QR コードを載せる。

7. PC 保険について （小森事務局長）

- ・PCのウイルス感染についての保険について提案がなされた。
- ・メール等で相手側にウイルス感染が発覚した場合、損害賠償の対象となり得る。PCのウイルス感染についての保険に加入してみてもどうか？保険料は限度額60000円/年程度。
- ・対象についての情報も集め、再度検討する。

8. 選挙へ行こうキャンペーンについて （大場会長）

- ・理学療法士会より選挙へ行こうキャンペーンへの協力依頼があったとの報告がなされた。
- ・11月30日（金）～12月9日（日）にかけて実施。
- ・企画団体としては、PT・OT・STの3士会。
- ・各施設に対して何名のOTが在籍しているか、人数のみの名簿を提出。広告を配布する予定。

9. 次回、第4回常任理事会日程について （荒井総務部長）

- ・平成31年1月20日（日）10：00～12：00
- ・県学会最終確認、平成28年度基本方針等
- ・年間日程では、上記となっているが中堅者研修会の予定となっており、再度調整をかけて行く予定。

以上